フェアプレイ委員長　打ち合わせメモ

令和５年３月３０日（金）１９時から１９時半
打ち合わせ参加者：フェアプレイ委員長　寺門浩之、事務局　松谷昌典
方法：電話打ち合わせにおいて次年度の予定確認等を行った。
記録作成者：事務局松谷昌典

（１）次年度の事業計画について
年次研修会の時期について、今回は定時社員総会の時に対面で実施する。ＪＰＡ役員向けおよび、加盟団体役員向けを兼ねるものとし、顧問弁護士によるガバナンス向上の研修を行う。９０分程度予定。なお、総会時の研修会開催は初めての取り組みになる予定である。

（２）フェアプレイ委員会の名称変更
ガバナンスコード準拠を目指し、令和５年度早々にコンプライアンス委員会に変更したい。また、業務所掌についても見直しを行い、ＪＰＡのガバナンス・コンプライアンス向上と、都道府県協会及び加盟団体のガバナンス向上支援を行っていく委員会へ変更するものとする。弁護士の倫理委員長へ相談しつつ、理事会へ提案する諮問機関としての位置付けにする予定。根拠規程は検討中であり、決算終了後に着手できる見込みである。

（３）委員の人事について
大森委員の任期満了による退任がある。次期は女性の田中理事を配置しガバナンスコードの要求を満たしたい。令和５年度は役員定期改選の年であり、新理事を委員として１名以上登用する方向。

上記、（１）から（３）について打ち合わせを行なった。委員長の寺門理事より令和５年度第１回理事会において、定時社員総会時の研修について社員総会招集の議案と合わせて提案を行うものとする。また、各委員への情報展開は委員長の寺門より行うものとする。
以上を持って打ち合わせを終了したため、本記録を書き残すものとする。